

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット

情報公開の方法 以下のURLで公開する 倫理委員会のホームページで公開を希望

URL

承認番号	4071
研究課題名	胸部ステントグラフト内挿術におけるExternalized Transapical Guidewire法の評価
研究の意義・目的	胸部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術（TEVAR）において、解剖学的に挿入や正確な留置が困難と考えられる症例に対して、当科では大腿動脈と左心室心尖部間のThrough-and-through wireを形成する、Externalized Transapical Guidewire法（ETAG法）を提唱し、行ってきた。本研究は、その安全性、feasibility、有用性をRetrospectiveに検討する。
研究期間	参加者のカルテ上の集積期間：2015年4月1日～2018年3月31日 研究実施期間：承認後～2020年3月31日
研究対象者の範囲	（例）平成27（2015）年4月1日～平成30（2018）年3月31日に大阪市立大学医学部附属病院の心臓血管外科で胸部ステントグラフト内挿術を行われた患者様のうち、心尖部からガイドワイヤーを挿入する、Externalized Transapical Guidewire法を行われた患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	血液、検査データ、診療記録、手術中に記録されたビデオ動画等
利用者の範囲	<input type="checkbox"/> 自施設のみ <input type="checkbox"/> 共同研究機関に試料・情報を提供する <input type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受ける <input type="checkbox"/> 自施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 他施設が共同研究の代表施設である <input checked="" type="checkbox"/> 研究成果を公表する
研究機関の情報	研究責任者：村上貴志 補職：准教授 所属機関：大阪市立大学附属病院 心臓血管外科
代表施設のURL	該当なし
研究成果を公表する方法	学会や論文にて発表する。
試料・情報の提供方法	該当なし
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学附属病院 心臓血管外科 村上貴志
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 大阪市立大学大学院 医学研究科 心臓血管外科学 准教授 村上貴志 Tel: 06-6645-2980 Fax: 06-6646-3071